



「新春のつどい」に過去最高の140人 総選挙勝利を誓い合いました



「福島のかいび」を聞きました

福島第一原発事故で全町民避難を余儀なくされている福島県浪江町の日本共産党町会議員の馬場績さん(写真)が避難先の二本松市から駆けつけ、「福島のかいび」を語りました。

馬場議員は、東電と国の原発事故に対する対応の無責任さに怒りをこめ、「帰りたいけど、帰れない」など、被災した人々の苦難を切々と語りました。そして、「原発ゼロ、生活再建、賠償など福島を救えるのは日本共産党だ」と復興への決意を語りました。

馬場議員の話涙で聞く参加者もいました

被災者救援募金 95,600円



「つどい」の会場で訴えられた被災者救援 95,600円寄せられました。岩崎ひろし市議から馬場績議員に渡されました。



写真上、馬場議員を囲んで交流する参加者 挨拶する はたの君枝南関東ブロック比例候補者(左)と岩崎ひろし市議員(右)。写真下・「ほっと戸塚」スタッフの方々などによる寸劇

1月29日におこなわれた「新春のつどい」は過去最高の140人の参加者で大盛況。東日本大震災で亡くなられた方々への黙祷で始まり、うたごえ、日本舞踊、バイオリン演奏、寸劇など楽しくつどいました。

はたの君枝南関東ブロック比例代表予定候補者、岩崎ひろし市議員が、野田民主党政権の暴走を厳しく批判、総選挙に必ず勝利する決意を表明しました。

参加された被災者は「被災以来、久しぶりに心から楽しい時間を過ごせました」と喜んでいました。

防災初期消火・救命救急の学習と訓練

2月4日(土) 午前10時 「ほっと戸塚」にて

AEDの使い方や心臓マッサージの仕方、初期消火など戸塚消防署の署員の方が指導に来てくださいます。どなたでも参加できます。